





の死後、その後継者はO型の瀬古選手が登場した際、近年のスピード化によって2:1.553の距離感が変化し、短期集中のO型が抜きん出てきたと分析を変えた。新幹線ならいざ知らず、人間の走るスピードがその距離感を変えるほど変化したとも言つものだろうか。結局、ここで露呈したのは、不都合な現象が出現すると、短期間に判断が変わってしまうという、その基準の持つ曖昧さだ。研究している本人は、理屈の通った科学としてその論理を説明しているつもりだろうが、これを非科学的と見られても仕方がないだろう。

ところで先にも述べたが、自分に都合の良い解釈をする事が占いのメカニズムなのでだから非科学なのだ！血液型占いを持ち出す人の殆どは、必ず自分に都合の良い場面のだけ、それを持ち出していく傾向にある。そのため、物事には必ず存在する裏表の両面までは解釈していない。例えば、保守的なタイプ、と言う表現を表面と解釈すると、裏面は、自分を守る事が一番と考え、損得勘定から、困っている人がいても見て見ぬフリをするタイプ、と言えなくはない。悪意にとれば、自分さえ良ければいい、となるわけだが、得てして自分自身の分析からは、都合の良い面だけ解釈して、悪い面があると、ここは少し違う、と除外してしまうものだ。その一方、他人の血液型性格分析にマイナス表現を見ると、そのプラス面の解釈はしなかつたりするのである。更に大きな視点から、血液型を見てみ

よう。ある学者が、各血液型のアンケート調査をしたところ、イメージが良かったのは1番がO型、2番がA型であった。血液型による人口比はA:O:B:A:B=4:3:2:1であるから、O型とA型で人口の7割が占めている事になる。これは、見方によっては小多数差別につながるのではないだろうか？人知れず、一部の人々に苦痛を与えているかもしれない。セクハラならぬブラハラ(Blood type harassment)である。

さて、人がある考え方を信じると予測と結果が添う様に、無意識に選択する現象が起こる。つまり占いを信じる人には、当たっていると思った部分のみの記憶に残し、ハズれた所は無視するという選択的記憶が生じるのだ。これが、一部の人に定着していく理由である。もし、今これを読んでいるあなたが血液型占いを信じていても、別に、全てを信じているわけではない、と思うだろう。ところが、自分に都合の良い解釈を繰り返してきたゆえんなのだが、悲しいかな人間は、自分の持つ醜い部分を正面から見つめる勇気がない。こういった話は、これまで何度も述べてきているのだが、毎回日常生活のあちこちに潜む逃げ場所を掘り下げていくと、自分を見つめる行為は恐ろしく難しいものだとなつく感じる。

最後に、血液型占いに限らず他の非科学の存在も含め、あくまで遊びとして楽しむ範囲に於いては人を傷つけることはないだろう。